

景観ミーティング

第1部 景観とは何だろう

1 景観とは何だろう

景観とは何だろう

(1)けしき。ながめ。特に、すぐれたけしき。
「アルプスの大ーに触れる」

(2) [(ドイツ) Landschaft] 人間の視覚によってとらえられる地表面の認識像。山川・植物などの自然景観と、耕地・交通路・市街地などの文化景観に分けられる。

「都市ー」

三省堂 大辞林第二版より

生活の中で、目に入るすべての環境
建築物など単体での良さではなく
単体が集まって出来たながめ

景観にはどんな視点が・・・



近景



中景



遠景

景観を分類すると

大地が創る



自然景観

人が創る

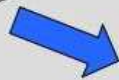


都市景観

印象の個人差



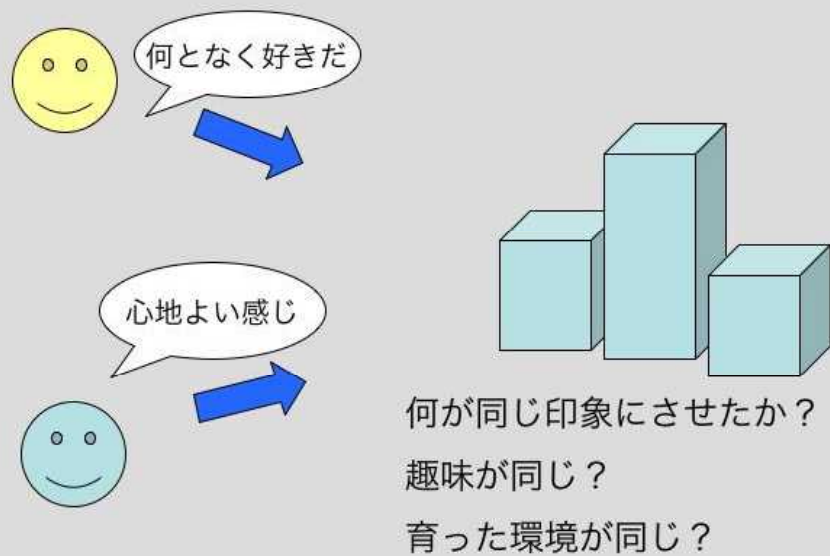
良い景観だ



何とも思わない



印象の個人差にある共通性



今の景観は

- 社会的な状況

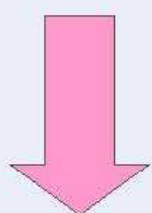
存在が日常的で見慣れている。
度の過ぎた「騒音」に対する不快感と同じように
「騒飾」「騒色」に対する不快感があるはずだが、
無関心か、寛容なのか…。

なにが良くて悪いのか判断できない？
全国どこも同じで特徴がない？

2 景観形成に向けた秋田市の取り組み

景観の重要性の増大

高度経済成長下での乱開発による景観破壊



社会状況の変化

- 地方の時代
- 人口減少社会 など

- 景観はパブリックという考え
- 良好な景観は地域イメージのUP
- 美しい国づくり

秋田市の取り組み

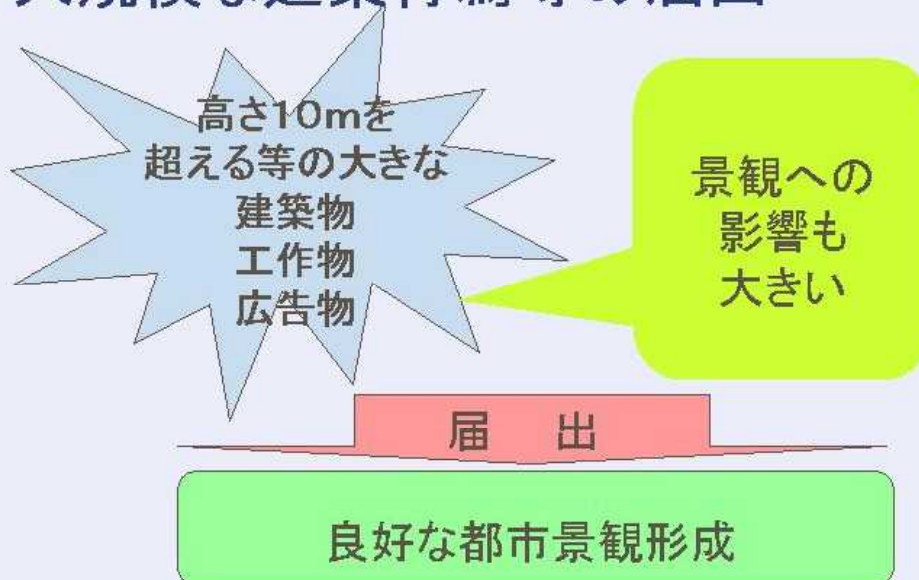
○都市景観条例

○屋外広告物条例

秋田市の取り組み

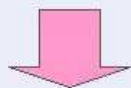


大規模な建築行為等の届出

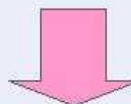


大規模な建築行為等の届出

全市に渡り、同じ基準を適用



まち中も田園もみんな同じ？

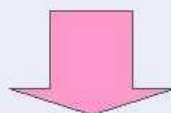


地域の特徴を活かした景観形成の必要

では、どうするか

地域の景観を探ってみる

- みんなで意見を出し合ってみる
- 日常の再発見



景観マップにまとめてみる

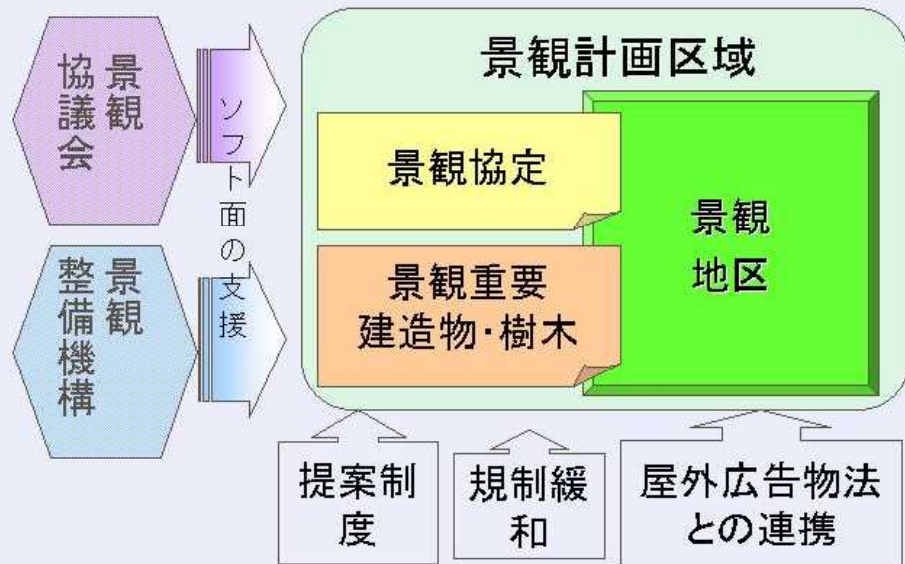
- 誰にでも一目瞭然
- 地域の魅力満載



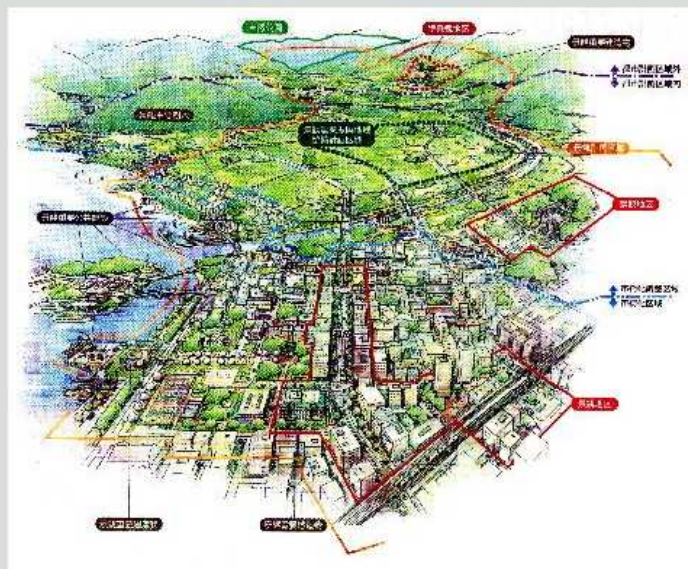
アピール

3 景観法の成立

景観法～枠組み～



— 景観法 — 景観計画の策定（これからの方向・目標）



みんなの考える良好な景観 「景観法」と「ふつうのまち」

- 個人の趣味や嗜好の中からみんなが良いと考える共通の意識を検討する必要があります。
- 守りたい景観・風景・街並みを発見する
- 必ずしもみんなが直ちに約束できない「いいところ」をどのように計画するのか？
- よいところを発見する作業が局所的にならないか？

ふさわしい景観

- まちの自然環境の特性に合っていること
- 地域の伝統や歴史的経緯に即し、望まれた景観であること
- その場所に適したテーマがあること
- 空間が美しく魅力的であること
- 人々が生活し生かされた空間であること
- つくられる人工物は先を考えた設計であること
- 植生をはじめ、長い年月をかけて作られることを想定すること
- 地域の人々が誇りをもって外から人を迎えられよう